



発行所 伊方町 愛媛県西宇和郡伊方町湊浦 796-03 ☎伊方局38-0211 編集長 公室 町長 印刷所 社 豊 豫 八幡浜市松栢 ☎22-0144

人がいて

- 夢がわき ●流れが変わり ●新しい町が つくられる

今月の紙面

二面……暮らしと町づくりに六十八億円 (平成二年度町の台所報告) 三面……町・県民税等の申告について 四面……国民年金保険料の改定について 歳時記(ひばり) 人の動き

開かれた町政目指して

30人を町政モニターに委嘱

町では、二月十日に町民会館で町政モニターの委嘱式を行いました。町政モニターの制度は、町民参加の開かれた町政運営を行うために、町政に対して日頃から感じていることなどを提言していただくために設けられたもので、大成の小島イワエさんら三十人(各地区二人以上)の方々にお願いいたしました。



町政モニターに委嘱をうける小島イワエさん

町政モニターに委嘱した皆さんは、二十五歳から七十七歳までの三十人で、年齢や職業もさまざまです。任期は二年間、仕事内容は次のとおりです。主なものとしては、文書による通信やアンケートへの回答、モニターの皆さんとの懇談会を通して、町政全般について意見を述べ、文書にすることになっていきます。文書による通信とは、モニターの皆さんが日頃から感じていること、考えていることなどを町宛に連絡していただくもので、必要に応じていただく随時連絡と月末に取りまとめしていただく定期報告の二つの方法があります。

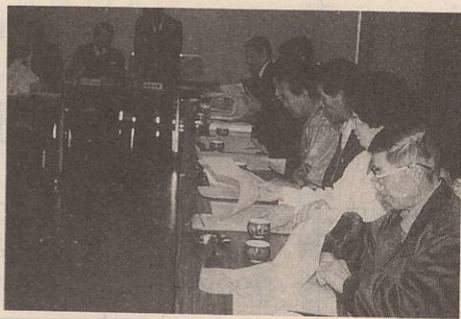


また、アンケートについては、逆に、町が現在考えている施策等の中から、いろいろな課題を取り上げ、それについて回答していただくものです。よろしくお願ひします。

町政懇談会なども

町では、今年度、町政モニター制度の発足とともに、町政懇談会やハガキによる意見聴取などの公聴活動を積極的に行っています。

また、ハガキによる意見聴取も行い、昨年九月から今年一月末までの五ヶ月間で三十二通のハガキが寄せられています。それぞれに、医療問題や高齢化対策などの貴重な提言や要望等をいただきました。また、



町政モニター委嘱者 (敬称略)

Table listing the names of town government monitors by district. Columns include District (地区), Monitor Name (モニター氏名), District (地区), and Monitor Name (モニター氏名).

八幡神社で交通安全祈願祭

八幡浜交通安全協会伊方支部では、一月十六日、湊浦の八幡神社で交通事故撲滅の安全祈願祭を行いました。昨年は、町内で三件の死亡事故が発生しており、交通安全を願って行なわれたものです。



広報無線の町内一斉放送

定時放送1回2回 [朝8時00分 夕5時30分]

町では、昭和53年から広報無線施設を整備し、行政連絡や非常時の放送を行っています。通常は、朝8時と夕方5時30分に放送しています。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

平成二年度町の台所報告

暮らしと町づくり

六十八億円

健全な財政運営続く

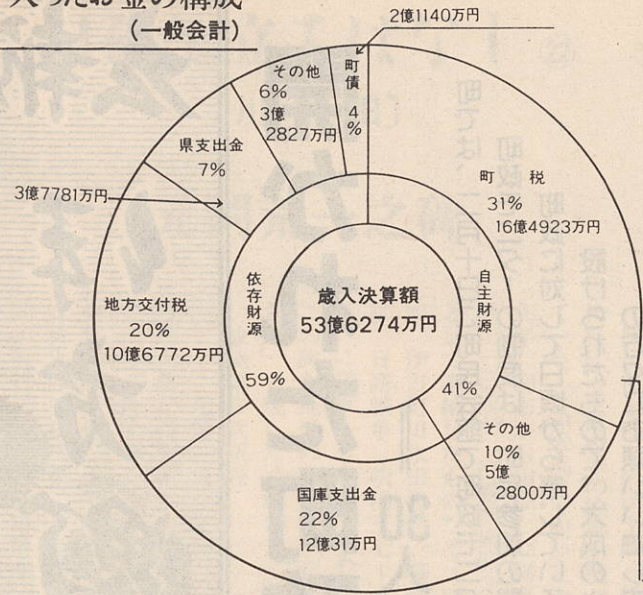
平成二年度町の台所、一般会計、国保会計、国保会計(事業・直診)、老人保健会計、給食特別会計、港湾特別会計、住宅資金会計の決算が、昨年十二月の議会で承認されました。

そこで、町の財政状況を町民のみなさんに知っていただくため、そのあらましを紹介してみました。

平成二年度の歳出決算規模は、一般会計で五十三億円、全会計のトータルでは六十八億円となっており、これを前年度と比較しますと約十四億円の増、約二十六%の伸びとなりました。

なお、一般会計の決算については、二十五年度連続、黒字決算となっております。健全なる財政運営を続けていることを表わしています。

入ったお金の構成 (一般会計)



町民税 3億1262万円 (6%)
 固定資産税 12億9314万円 (24%)
 軽自動車税 854万円 (0%)
 たばこ消費税 3493万円 (1%)

一般会計のあらまし

一般会計について、町の台所へどのようにお金が入り、どのように使われたか、グラフやカットをみながら簡単にのぞいてみましょう。

町の台所に入ったお金は、総額五十三億六千二百七十四万円、それに対して、使ったお金は、五十三億四千八百五十六万円の黒字決算となっております。しかしながら、このうち翌年度へ繰り越すべき財源として二千三百八十八万円あり、実質黒字はそれだけ減り三千五百四十八万円(前年度八百一十一万円)の黒字決算となりました。

なお、昭和四十一年以降二十五年間にわたり黒字決算が続き、健全な財政運営を堅持することができましたことは、町政に対する町民のみなさんの深いご理解とご協力があったことと感謝しています。

入ったお金

歳入

総額は、五十三億六千二百七十四万円、そのトップは、町税の十六億四千九百二十三万円、全体の三十一%となっております。中でも、固定資産税の占める割合が非常に高く町税全体の七八%を占めています。

次いで、国庫支出金の十二億三十一万円(二二%)、地方交付税十億六千七百七十二万円(二十%)の順となっております。

使ったお金

歳出

総額は、五十三億四千八百五十六万円。一番多いものは、地区自治基金や地域振興センター建設費、八西有線放送開局などに伴う補助などに用いた総務費で二十二億四千八百二十四万円、全体の四十二%を占めています。次いで、農道、漁港整備費などの農林水産業費で七億三千五百四十七万円(十四%)、コストMURRO整備や道路改良事業に使った土木費で五億七千二百一十八万円(十一%)となっております。これを使った性質別に分析

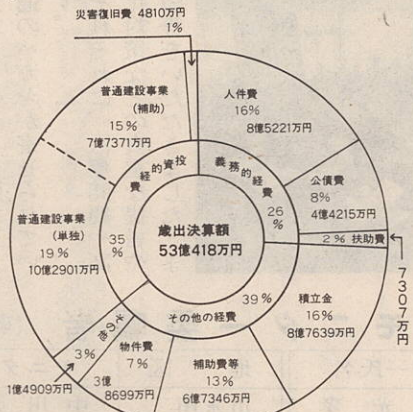
して見ますと、普通建設事業が十八億二千七百二十三万円(三十四%)となっており、これに災害復旧費をプラスすると、投資的経費は、十八億五千八百二十万円となり前年度十二億八千万円と比較すると五億七千七百二十万円と、前年対比四十五%と非常に高い伸び率となっております。

町民一人あたり
六十五万六千円

使ったお金を町民一人あたりに換算すると、どれくらいになるかを計算してみました。

総額では、一世帯あたり二百一十一万円、一人あたりにするると六十五万六千円使った勘定になります。

使ったお金の構成(一般会計・性別別)



使ったお金(一般会計・目的別)		歳出総額	議会費	総務費
53億418万円 一世帯当り 202万円 (人口は平成3年3月31日現在) ※◎は町民一人当たりの額		◎655647円	7865万円 (1.5%) ◎9722円	22億4824万円 (42.4%) ◎277904円
民生費 5億632万円 (9.5%) ◎62586円	衛生費 2億4074万円 (4.5%) ◎29758円	農林水産業費 7億3547万円 (13.9%) ◎90911円	商工費 1370万円 (0.3%) ◎1693円	土木費 5億7228万円 (10.8%) ◎70739円
消防費 1億90万円 (1.9%) ◎12472円	教育費 3億687万円 (5.8%) ◎37932円	災害復旧費 4810万円 (0.9%) ◎5946円	公債費 4億4215万円 (8.3%) ◎54654円	諸支出金 1076万円 (0.2%) ◎1330円

各会計の決算状況

区分	歳入額	歳出額	差引
一般会計	53億6274万円	53億0418万円	5856万円
国保会計			
事業会計	6億5202万円	5億9488万円	5714万円
直診会計	1億6650万円	1億6368万円	282万円
老人保健会計	5億3289万円	5億3513万円	△224万円
学校給食会計	3483万円	3480万円	3万円
港湾整備会計	189万円	189万円	—
住宅資金会計	300万円	317万円	△17万円
水道事業会計	1億7017万円	1億6277万円	740万円
合計	69億2404万円	68億0050万円	1億2354万円

平成二年度にこのような事業を行いました

- 【総務費】
 - 八西総合情報システム補助 三億二二〇万円
 - 八西有線放送加入促進補助 一〇六三万円
 - 地区自治活動促進補助 八一九万円
 - 地域振興センター建設 四億四九九〇万円
 - 納税奨励補助 五九二万円
- 【民生費】
 - 九町保育所改築 九六六万円
- 【衛生費】
 - 八西衛生事務組合補助 二五八三万円
 - 九町池整備工事 六一八万円
 - ゴミ集取車購入 二七七万円
 - 簡易下水道整備 二〇三三万円
- 【農林水産業費】
 - 川永田農村基盤整備 五二四五万円
 - 伊方南土地改良総合整備 三〇二二万円
 - 豊之浦等漁港整備 一億九四五五万円
- 【土木費】
 - 九町女子線等道路整備 三六二〇万円
 - 伊方港改修工事 二億五九五六万円
 - コストMURRO整備 十二億〇五九二万円
- 【消防費】
 - 八幡浜地区施設事務組合補助 六〇二三万円
 - 小型動力ポンプ・積載車購入 八〇三万円
- 【教育費】
 - 九町小新築関連工事 八九一万円
 - 沖の城整備工事 一三七万円
 - 【災害復旧費】
 - 漁港・道路災害復旧 四五五七万円

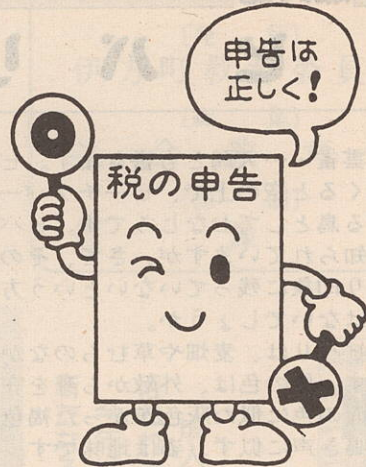
税金は、豊かな暮らしにいきっている この社会あなたの税はいきっている

住民税 国民健康保険税



〔申告期間〕
2月15日(土)～3月16日(月)
※地区集会所での指定日をご利用ください。

申告はもれなく正しくお早目に



平成4年度 住民税・保険税申告日程表

月日(曜)	時 間	地 区	場 所
3月2日(月)	9:00～12:00	大 成	大成集会所
	13:00～16:00	鳥 津	鳥津集会所
	9:00～12:00	古 屋 敷	古屋敷集会所
	13:00～16:00	田 之 浦	田之浦集会所
3日(火)	9:00～12:00	加 周	二見公民館
	13:00～16:00	二 見	二見集会所
	9:00～12:00	西	西・久保集会所
	13:00～16:00	久 保	西・久保集会所
4日(水)	9:00～12:00	須 賀	須賀集会所
	13:00～16:00	奥	奥集会所
5日(木)	9:00～12:00	畑	畑コミュニティーセンター
	9:00～12:00	向	向公民館
	13:00～16:00	川永田2	新川会館
	9:00～12:00	伊方越	伊方越集会所
6日(金)	9:00～12:00	豊之浦	豊之浦集会所
	13:00～16:00	亀 浦	亀浦集会所
7日(土)	9:00～12:00	河 内	河内集会所
9日(月)	9:00～15:00	川永田1	川永田コミュニティーセンター
10日(火)	9:00～12:00	小中浦	小中浦集会所
	13:00～16:00	中 浦	中浦集会所
	9:00～12:00	湊浦2	湊浦2集会所
11日(水)	9:00～12:00	仁田之浜	仁田之浜集会所
	13:00～16:00	中之浜	中之浜集会所
12日(木)	9:00～15:00	大 浜	大浜集会所
13日(金)	9:00～15:00	湊浦1	湊浦集会所

準備…OK

町民税や国民健康保険税などの所得申告時期になりました。所得申告は、皆さんにとって今年一年間の税金を決める大切なものです。その日になってあわてないように今から準備をしておきましょう。

町では、三月二日から巡回相談を行います。申告用紙と記入説明書は、相談日までに区長さんを通じて配布いたしますので、必要書類を持参のうえ申告においでください。地区別の申告日は左表のとおりです。

ただし、給与所得のみの人や、農協や商工会、税理士を通じて税の確定申告を済ませた人は、申告の必要はありません。また、ここでいう所得申告は、税務署が扱う所得税の確定申告の対象とならない人の申告です。

このほか、申告日に急用などで会場へ行けなかったときは、役場税務課で受付していただきます。また、申告について

町民税

町や県に納める税金です。所得の額が、扶養などの控除額より多いときは一定の率でかかります。所得の少ない人は、均等割額が一人当り二千二百円になります。

国民健康保険税

町の国民健康保険に加入している人は、所得があるなしにかかわらず全員申告をしなければなりません。また、家を新築したり土地を売ったりした人は税金が増えますので係員に確認をお願いします。

税の申告に 必要な七つ道具

- 1 役場から送付された「申告書」と「印鑑」
 - 2 給与などのある方は、「源泉徴収票」
 - 3 医療費控除を受ける方は、「支払った医療費の領収書・保険などで補てんされる金額の明細書」
 - 4 生命保険料控除のある方は、「支払保険料の証明書(一契約九千円超のもの)」
 - 5 損害保険料控除のある方は、「支払保険料の証明書」
 - 6 台風災害等で事業用資産に損害を受け、収入から必要経費として控除を受ける方は、「資産修繕費の明細書」
 - 7 雑損控除を受ける方は、「被害を受けた住宅家財の明細書」
- ※ 以上のほか「申告の手引」を読み必要に応じて、関係資料等をご持参下さい。

所得税の確定申告

期限は三月十六日まで

出張相談を開設

八幡浜税務署では、二月二十八日(金)、二十九日(土)に出張納税相談所を開設します。税務署から直接通知のあった人や確定申告について尋ねたい人はご利用ください。

医療費控除を受けるためには

医療費控除の足切り限度額は、通常の場合十万円です。ところが、意外と知られていないのが、合計所得金額の5%の足切り限度額です。例えば、合計所得金額が百五十万円の場合、足切り限度額は「百五十万円×5%＝七万五千円」となり、七万五千円を超える部分が、医療費控



災害にあったときの税

昨年、台風などの災害に遭い、住居や家財など生活に通常必要な資産に損害を受けたときは「雑損控除」として、前年の所得額から、その一定額が控除されます。また、農業者、漁業者及び

便利で有利な振替納税

《申告の際、是非届出を》

今やキャッシュレス時代、振替納税は、現金を持ち歩く必要がなく便利で、うっかり納税を忘れてしまふこともありません。この制度は、伊方町とあなたの取引先の金融機関へ「口座振替納入届」を提出していただくだけで、あなたの預金口座から、指定された日に自動的に納税ができる制度です。

「振替納税」は、「便利さ」以外に、次のような利点があります。

納税額が預金口座に確実に記帳され安心です。また、「振替納税」を利用していただかない方は、平成四年度課税分からは非加入していただきます。三月末日まで、推進期間として受付けております。

納税額の1%相当額を報償金として給付します。年税額を六月に全納する場合前納報償金5%を加え、6%の割引納税となり、預金利子が下がっている現在、最も有利な納税方法といえます。

しかも、現金を扱いませんので盗難等の心配もなく安全で、かつ、納期日に口座から自動的に振替により納税され、納税額が預金口座に確実に記帳され安心です。



歳時記

ヒバリ

雲雀……天鵝とも書きます。ヒバリは、春がくると空の上で、ピークパーチクとさえずる鳥としておなじみです。ヒバリの声はよく知られていますが、さて、その姿は……あまり印象に残っていないという方が、多いのではないのでしょうか。

ヒバリは、麦畑や草むらのなかに巣を作ります。体の色は、外敵から身を守るために、地面の色に似た灰色がかった褐色です。派手な鳴き声に似ず、姿は地味です。

ヒバリの雄は、繁殖期になると、縄張りの上を舞いながらさえずります。巣に戻るときは、巣の位置を知られないために、少し離れたところに下り、歩いて巣に戻ります。しかし、飛び立つときは、巣から直接飛び出します。

昔はヒバリを捕えて飼育し、「ヒバリかご」という背の高いかごに入れて、その鳴き声を楽しむ風習がありました。揚げヒバリといって、かごから空に飛び立たせ、またかごに戻らせるという遊びもありました。

このように、ヒバリを捕えて飼育するために、ヒバリ笛というのがありました。細い竹のなかに水を入れて吹き、ヒバリのさえずりに似た音を出して、ヒバリを誘うのです。

現在は、野生動物であるヒバリを捕えたり、飼育したりすることは禁じられています。自然

の声を楽しみましょう。

ヒバリは草が緑になまると、さえずり始めます。3～5月は、「国土でな緑化運動強調期間」です。各地でさまざまな行事が行われます。森林との触れ合いを深めましょう。



大阪府茨木市花園二丁目十九の八にお住まいの兵頭勇さん(中之浜出身)から二万円。八幡浜市古町一丁目四の十八にお住まいの明神孝芳さん(加周出身)から二万円。大阪府箕面市半町四の七の三七にお住まいの兵頭勤さん(仁田之浜出身)から二万円。大阪府茨木市沢良宣浜二丁目二十の六にお住まいの中野武佐士さん(中之浜出身)から五万円。伊方町加周出身の榎尾剛さんから一万円。広報編集費用にとご寄附いただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

さわやか君

西村 宗



農林漁業や自営業者・学生など第一号被保険者の皆さん保険料の納め忘れはありませんか。皆さんが、将来年金を受け取るためには、加入しているだけでなく、毎月の保険料を確実に納付していることが必要です。未納のままにしていると老後はもちろん、万一の場合にも年金が受けられないことがあります。納め忘れの保険料は、今すぐ納めましょう。四月から九千七百円に 国民年金の保険料は平成

◎割引前納納制度 保険料の前納制度を利用すると、有利になるだけでなく、毎月納めに行く手間も省け、納め忘れもなく、便利です。ぜひ、ご利用ください。

Table with 4 columns: 保険料 納め方, 毎月納めた場合, 前納をした場合, 割引額. Rows include 定額保険料 and 定額保険料+付加保険料.

お問い合せは、市町村役場の国民年金担当までどうぞ。学生の皆さん 就職したら 国民年金の届け出を 平成三年四月から学生の皆さんも二十歳になれば全員国民年金に加入することが義務づけられました。学生の皆さんは、第一号被保険者として加入されていますが、卒業後、会社員や公務員などの道を選び、厚生年金や共済組合に加入される方は、国民年金の第二号被保険者と

国民年金保険料改定のお知らせ 四月月額九千七百円になります

町内の交通事故 (2月1日現在)

発生件数.....2件 負傷者数.....2人

昨年一年間の八幡浜警察署管内での交通事故の発生件数は、前年に比べ十二件減少の二百六十六件、負傷者数も三十一人減少の三百二十五人(うち死者三人)でした。今年も皆さん方一人ひとりが交通ルールを守り、交通事故ゼロの町づくりに努めましょう。伊方・町見駐在所

まごころ銀行

畑の田淵政喜さんから、先頃なくなりましたご尊父様のご逝去に伴う香典返しとして五万円ご寄附いただきました。町では、さっそくまごころ銀行に預託、社会福祉の増進に有意義に活用させていただきます。紙上から厚くお礼申し上げます。

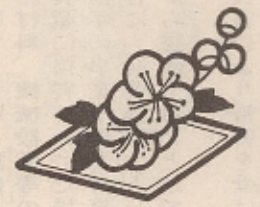
お礼

平成4年1月1日現在 世帯数2,620戸(-7戸) 人の動き 7,989人 (男3,834人(-9人) (-24人) 女4,105人(-15人))

えんむすび 平成3年11月1日~12月31日 氏名 本籍地

お誕生おめでとう よい子に育ってください 平成3年11月1日~12月31日 保護者 続柄 児名

おくやみ 平成3年11月1日~12月31日 死亡者 年齢 住所



よりよい社会を願って

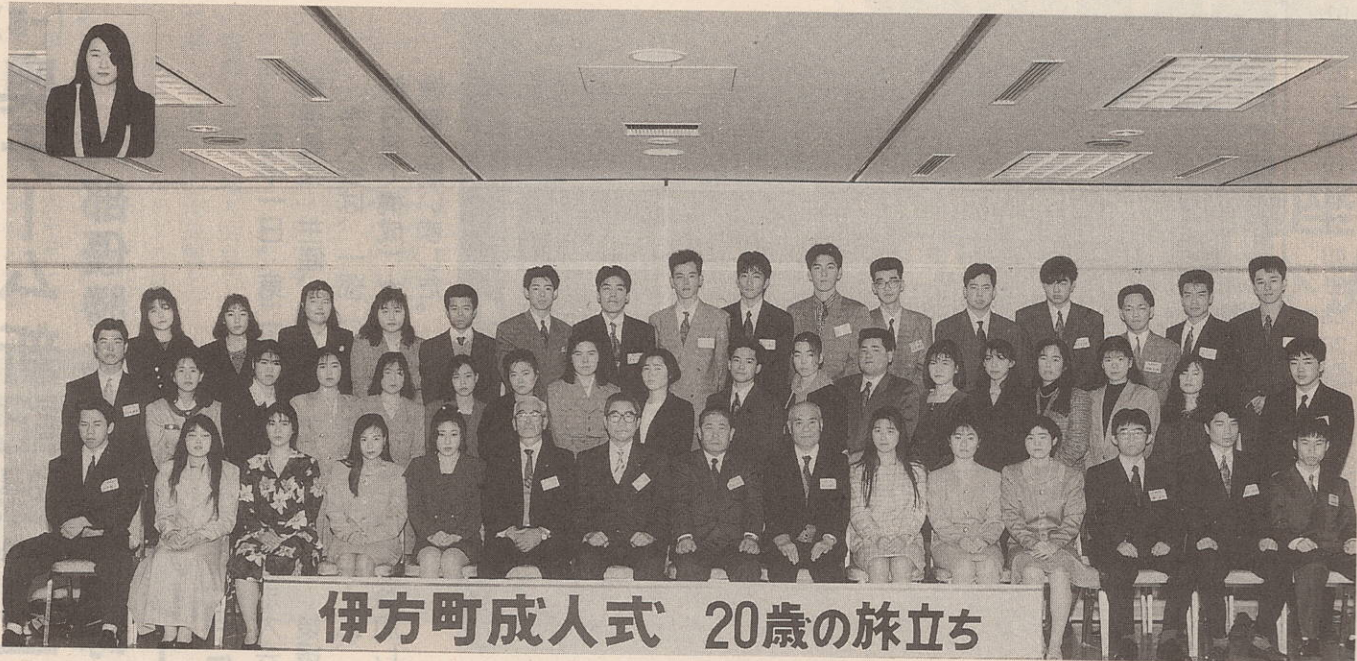
- 明るいあいさつをしよう
- 時間を守ろう
- 町を美しくしよう

ふれあい

いかた

教育だより

〔発行〕
伊方町教育委員会
〔編集〕
社会教育課
〔印刷〕
豊 豫 社



伊方町成人式 20歳の旅立ち

晴れて48名が新成人に

〈1月15日に成人式〉

「成人の日」は一月十五日、平成四年伊方町成人式が中央公民館で行われました。
今年には四十八名が成人式に出席、この日を契機に新成人それぞれが新たな人生への決意を行い、晴れて大人への仲間入りをしました。

この日は、式典が午前十時から開かれ、新成人四十八名（男子二十三名、女子二十五名）が出席しました。

式典では、主催者、来賓の方々より、「この日を契機として、これからの人生に誇りと責任を感じ、立派な社会人として又、郷土伊方町を担う若い力となつてがんばって下さい」と祝福や励ましの祝辞をいただきました。

これに対して、新成人を代表して、笹田美恵さんが「本日、とまどいながらも成人式を迎えましたが、これを機会に皆様方より頂いた教訓を忘れることなく、大きな夢と希望を胸に若さと、行動力で立派な大人になります」と誓いの言葉を述べました。

式典、記念行事が終わり、新成人も幾分、緊張感もほぐれた様子で、会食の宴になると久しぶりの再会に話が盛り上がりつつありました。

午後からは、青年団主催の歓迎行事が行われ、新成人はゲームやクイズに参加するにつれて、会場内は大きな笑いが飛びだし、大変、にぎやかな雰囲気の中で行われていました。

青年団の歓迎行事で照れるは照れるは

大きな夢と希望を胸に誓いのことば—笹田美恵さん



成人式で真剣な顔・顔・顔



PTA活動の活性化めざして

伊方町PTA研究大会

一月十九日、「ふるさとを知り、ふるさとを大切に育てる子どもを育てるPTA活動の在り方について考えよう」と第三十七回伊方町PTA研究大会が中央公民館で開催されました。

この日は、小中学校PTA会員、保育所保護者、関係職員ら約三百二十名が出席。

開会行事終了後、人権に関する主張発表が行われ、伊方町三年の大通理香さん、町見

等が上げられ、今後は学校、家庭及び地域の三者が一体となり真剣に取り組んで行こうと討議されました。

午後からは、昼の休憩にアトラクションが催され、二見小PTA会員全員による、踊りや寸劇が発表され、場内が爆笑となり、研修での堅さがほぐれた様子でした。

そして、講演では広島大学の土井利樹先生を招き、「豊かな心を育てるPTAと家庭の役割」と題して講話をされました。土井先生は、親とPTAに求められるものとして次の様に話されました。

一、情緒の安定を第一に
指示や命令を少なく

二、生活の形やリズム、生活体験を大切に。

三、存在を認め、自己決定への援助と助言を

PTAには
一人だけでは対応できない生活体験の場を共に育てる。

二、相互認知を進め、共に意味ある他人になる努力をしよう。

分科会では熱心に討議を

中三年の渡辺隆之くんの二名が日常生活の中で感じている人権意識を力強く発表しました。



分科会では熱心に討議を

毎月第3日曜日は「家庭の日」です

3月のテーマ “努力をたたえ合おう”

〔実践方法〕 ○学校生活、家庭生活、社会生活などの成果について話し合い、家族それぞれの努力をたたえ合おう。



踊るボンボコリンで会場をわかせた二見小PTA

又、参加者も親の役割、PTAの役割の大切さを再認識しながら熱心に聴講していました。

第22回 伊方町駅伝大会 成績結果

1部の部	① 奥	新1.03.45
	②大 浜	1.08.18
	③湊 浦	1.09.46
	④河 内	1.10.47
	⑤豊 之 浦	1.11.52
	⑥有 寿 来	1.11.55
	⑦仁 田 之 浜	1.11.57
	⑧川 永 田	1.12.16
	⑨中 之 浜	1.12.47
	⑩ 畑	1.15.01
	⑪中 浦	1.21.29
2部男子	①町中野球A	1.06.27
	②伊中野球A	1.07.23
	③伊中バスケA	1.07.50
	④町中野球B	1.13.19
	⑤伊中野球B	1.14.44
	⑥町中野球C	1.14.57
	⑦町中バレー	1.15.49
	⑧伊中バスケB	1.16.51
	⑨伊中水泳	1.17.23
	⑩伊中柔道	1.17.26
2部女子	①伊中バレーA	1.16.54
	②町中バレーA	1.17.30
	③伊中ソフトA	1.20.10
	④伊中テニス	1.23.06
	⑤伊中ソフトB	1.23.34
	⑥町中バレーB	1.23.34
	⑦伊中バレーB	1.24.29
	⑧伊中剣道	1.26.13
	⑨伊中バレーC	1.27.08

1部区間賞					
1区	大谷知	湊浦	9.25		
2区	渡辺三郎	河内	3.57		
3区	矢野治	大浜	5.05		
4区	三根生彰宏	奥	7.01		
5区	清家稔	有寿来	5.02		
6区	池田誠	奥	3.54		
7区	中藤吉男	大浜	3.23		
8区	池田亮	奥	新5.09		
9区	水沼仁之	有寿来	6.55		
10区	渡辺隆之	奥	10.22		

2部男子区間賞					
1区	宮脇源	伊中バスケA	新13.13		
2区	山本耕平	伊中バスケA	13.47		
3区	山岡真吾	町中野球A	新12.39		
4区	高野健二	町中野球A	新12.57		
5区	田村弘樹	町中野球C	11.22		
2部女子区間賞					
1区	中藤ふみ	伊中バレーA	16.10		
2区	井上咲子	町中バレーB	15.51		
3区	小島香奈	町中バレーA	新14.25		
4区	古田直美	町中バレーA	新16.06		
5区	河上ことみ	伊中ソフトA	12.54		

汗 第22回駅伝大会 マラソン大会 快



この日は、春を招く年中行事にふさわしい好天の中で駅伝大会が行われました。コースは田之浦集会所をスタート、大浜臨港道路折り返し、中央公民館前を経由して伊方中学校グラウンドでゴールの十九・五*を一部十区間、二部五区間の中継で開かれた。開会式を終え、矢野吉衛教育委員長のピストルの合図で30名の第一走者が元気よくスタート。レースは、前半、奥・湊浦・伊中バスケAがトップ争いを展開していたが、自力に優る奥が中盤からゴールまでトップを守り、大会新記録で二年連続四回目の優勝(一部)を果たしました。

又、二部男子は、町中野球A、二部女子は、伊中ソフトAがそれぞれ優勝しました。成績は表のとおりです。

(一部)奥チーム新記録で二年連続V 二部優勝は(男)町中野球A (女)伊中バレーA

第二十二回伊方町駅伝競走大会(町体育協会・町教育委員会主催、伊方ライオンズクラブ後援)が開催された。今大会は、一部(地域別構成)十一チーム、一部(中学生以上の愛好者で構成)十九チーム、約二百人が参加し、各中継に分かれて健脚を競いました。

二月十一日、第二十二回伊方町駅伝競走大会(町体育協会・町教育委員会主催、伊方ライオンズクラブ後援)が開催された。今大会は、一部(地域別構成)十一チーム、一部(中学生以上の愛好者で構成)十九チーム、約二百人が参加し、各中継に分かれて健脚を競いました。



一部優勝を喜ぶ奥チーム



二部男子優勝を喜ぶ町中野球A



二部女子優勝を喜ぶ伊中バレーA

900人が さわやかな汗

マラソン大会(伊方・町見)

一月二十六日、伊方中学校町見体育館を拠点にマラソン大会が開催されました。この大会は、走ることによる、体力の向上、健康への意識を高めようとする伊方、町見体育振興協会が実施しているもので、コースは、それぞれの体力に応じた3コース(町見、4コース(伊方)に設定。両会場では、保育園児から六〇歳代の大人まで約九〇〇人が参加し、午前十時から、コース毎にスタートしました。最短コースでは子供の手を引



いて一緒に走る親子や、子供に遅れまいと一生懸命走るお父さん、お母さんの姿が見られました。又、他のコースでも、自分の体力に挑戦しようと力走する選手も目立ちました。そして、ほとんどの参加者が、完走をし、完走証が手渡されていました。

体協の方では、このマラソン大会を機会に、自己の健康管理の為にスポーツを日常生活に取り入れてほしいと話されていました。

個人12名・2団体が 町体育功労表彰を受賞

毎年、町民運動会で表彰している町体育功労表彰が今年も、町民運動会が中止に伴い二月十一日の駅伝大会の場で個人12名、2団体が選ばれ表彰式が行われました。

この表彰は、県大会優勝、四国大会以上の大会に出場した人の功績を称え、表彰しているもので、次の方々が受賞されました。

(個人) ●菊池ミヅク(伊方中) 県中学校総合体育大会・走幅跳一位●福山富子(同) 同大会・砲丸投一位●井上耕二(同) 同大会・柔道個人戦一位●菊池之成(同) 同大会・三種B標準記録達成で四国大会出場●池田亮(八高) 全国高校総合体育大会・千五百m五位入賞●三根生彰広(同) 県高校総合体育大会・三千m障

(団体) ●伊方スポーツ少年団・全国ソフトボール大会出場●九町スポーツ少年団・県県スポーツ少年大会、ソフトボールブロック一位

害一位●得能通泰(新高専) 全国高専ラグビー大会出場●松下恭子(川高) 全国高校柔道選手権大会出場●大黒英美(大浜) 全国青年大会・砲丸投五位入賞●竹中良治(中之浜) 県青年大会・三段跳一位●田縁藤治(川永田) 同大会・相撲個人戦一位●山岡敏子(田之浦) 同大会・八百m一位



第8回 二見地区 ふるさとまつり 盛大に開催される

去る二月九日(日)、二見公民館を主会場に、第八回二見地区ふるさとまつりが行われた。自らの手で地域づくりを、住民の意識に定着しつつある。また、過疎化の進む中で地域の連帯感がうすれつつあるのを呼びおこそうと始められたのがこの行事です。

今年、台風十九号の被害を受け、みんながめいっている、なおさら活力の源泉にもなればと、役員さんをはじめ二見地区が一体となつてこの行事に取り組んだのです。

二見公民館では、小中学生の書画作品展、婦人会員の生花展、一般趣味の作品展を行い、生活改善グループのお餅つき、お寿司コーナー、古屋敷日赤奉仕団の方々による夕コ焼きコーナーが大盛況でした。

午前中、二見小学校の学習



二見公民館の作品展を見る人・人



ふるさとまつりで婦人会の花笠踊り

発表会の後をお貸りして、講堂全体を漁船に見立て、大漁旗で満艦飾にし、午後一時から芸能発表会を行った。

民謡、カラオケ、舞踊とプログラムはいっぱい。

大きな声で歌い、素人なりに扮装をこらした踊りで、大きな拍手や笑いの渦が巻きおこる。時間のたつのも忘れる一時を過ぎた。

終つて帰る人々の後姿は明るく、しっかりと足どりで帰つていった。

この、ふるさとまつりの行事が、明日の地域づくりに、心の糧となればと思つてい

また、島根県の一畑薬師から薬師如來がお勧請されたのは、享保二年(一七二七)じゃそうで、毎年、旧一月八日の初薬師を例祭の日と定め、お祭り行事を行っています。

町保健センターのご協力もあつて、地域の連帯意識を高め、健康で長寿地域づくりを目指した活動が行われた。

自治公民館長さんの挨拶のあと、林館長さんから、公民館の三つの役割(集まる、学ぶ、つなぐ)について説明が

あり、井根収入役さんが町の発展は地域おこしから、重岡議長さんは、健康、勤労、生涯学習を祝辞を述べられた。

早朝からみんなで餅つき、ベタンク教室、血圧測定などが行われ、また、松山市から虹の家所長の、永和良之助先生の講話「長寿をよるこび合えるふるさとづくり」と題したお話を拝聴した。

その後、ご縁日のお薬師さんをお参りして、一日中、和やかに楽しい行事となつた。

去る二月十三日(木)、伊方中央公民館において二回目の伊方町歴代婦人会長さんの研修会が開催された。

この研修会には、代々の婦人会長さんと、現在の役員さんたちが一堂に会し、交流を深めあつた。婦人会長OBの方々は、往時を思い出しながら、いま岐路にたつ婦人会活動の所期の目的は何か。これからの活動を模索しようといふまで話し合った。

初めに、婦人会活動の現状を報告し、いろいろな課題について討議した。

その結果、山積する問題点について、歴代会長よりアドバイスがあり①婦人会活動の目的を理解し②日常生活での

会員一人ひとりが活動の核とならねばと



○成人講座 ○実年講座で 交流学習

厄年、還暦を迎える方々を対象に、人生の節目により充実した人生を送る手立てにと二月三日に実年講座、八日に成人講座が中央公民館で開催されました。

実年講座には、六十一歳の男女三十七名が出席。講演では、講師田宜秋先生を招き「二十一世紀にむかって」と題して講話されました。

近田先生は、「今や人生八十年時代、百年の者も多くなつていく時代であり、六十

一歳というのは大事な年である。レースに例えれば、ゴールに到着してから、もうしばらく走って下さいと言われ、もう一度、再スタートする年齢であります。

ゴールまで走って、また走れと言われても無理だと思ふ人、まだいくらかでも走るぞと思ふ人がいると思ひますが、皆さんは、これからは大本に

立ちかえつて、全体的なしくみを創造していくことが、二十一世紀にむかつての二十年の役目です」と話され、出席者は熱心に聴講していました。

二月八日に行なわれた成人講座には、三十三年齢の女性十二名、四十二年齢の男性三十一名、計四十三名が出席して行われました。

式典、厄払い神事(希望者)のあと、八幡浜市の東林山禅光寺住職、若林秀明先生を招き「人生の節目を」と題して講演が行われました。

又、両講座では午後から会食が行われ、久しぶりの再会であり、かきし芸が飛び出すなど楽しい宴となりました。

そして、出席者はこの人生の節目に個人、家庭、地域で今後の人生の生き方、役割を再度、見直すよい機会となつたのでした。

ひなの節供といへば、今日では三日に定まっているが、中国では三月の上巳の日、または重三の日に、郊野に出水辺に遊んで禊の

古代には、草・わら・木・紙などで人形をつくつて飾り三月三日の節日に川に流すか辻に送る習俗があつた。厄払いのまじないがはじまりで、人形で身体をなで、汚れや災いを人形に移して捨てたのである。その根には人柱のいけにえという農耕儀礼があり、火や水の祭りともかわりがあつた。

室町時代からこの人形を捨てることをやめ、玩具のひなも発展し、家に飾るようになつてひな祭りがはじまつたという。

ひなの節供といへば、今日では三日に定まっているが、中国では三月の上巳の日、または重三の日に、郊野に出水辺に遊んで禊の

節供には、節日に供える食べものの意で、せちくのみなまりである。菱もちや江戸時代から供えるようになつたが、平安時代には草もち、室町時代には白酒やモモの花を供えた。

行事をする風習があり、必ずしも三日とは限らなかつた。上の巳の日を用いるところから「上巳の節供」ともいう。

わが国では、中世に致つて三日に固定するようになった。

節供には、節日に供える食べものの意で、せちくのみなまりである。菱もちや江戸時代から供えるようになつたが、平安時代には草もち、室町時代には白酒やモモの花を供えた。



厄年、還暦を迎え 人生に節目を

起源のナゾ

22

光文書院

「起源のナゾ」より

ひな(雛)の節供の起り

行事をする風習があり、必ずしも三日とは限らなかつた。上の巳の日を用いるところから「上巳の節供」ともいう。

わが国では、中世に致つて三日に固定するようになった。

節供には、節日に供える食べものの意で、せちくのみなまりである。菱もちや江戸時代から供えるようになつたが、平安時代には草もち、室町時代には白酒やモモの花を供えた。

ふるさと通信

ことしも

大般若でジャンボ草履

「春は名のみの風の寒さや...」 暖冬とはいえず、立春を過ぎてもまだまだ冷えこみはきびしい。「冬来りなば夏遠からし」といわれるように、冬は春を待つ心楽しい季節です。

伊方町では、今年も大般若をつくって悪霊退散を願う、大般若(おはんにゃ)の伝統行事が行われる。

旧一月七日の伊方越を皮切りに、三月初めごろまで各地で行われる。毎年、十人組で当番が細々行事を続けている。おはんにゃの日は、朝早くから地区公民館に集まって、葉を集めて大ざうり作りや木塔婆づくり、ちよっととしたご馳走も作り、祭壇の準備をする。午前十時過ぎには大ざうりが完成、法通寺や天徳寺住職が厄よけのお祈りをする。藩政時代から続く新春伝統行事で、各地区とも、お寺に保管してある大般若経六〇〇巻を住職が奉読し、国家安泰五穀豊稔、万民豊樂を祈願し、そのあと、厄払いとして大般若経の箱を担いで地区内を回り、辻々では住民が集まり、箱の下をくぐりぬけご祈禱を受けている。大ざうりは木塔婆にしぼりつけて魔よけにする。地区の守護神として祭られる。彼岸へと移りゆくかすかな春の足音に耳を澄ませよう。



このほど、交通安全家族会議作文コンクールで、九町小学校の六年生、三根生敬子さんが見事、最優秀、

作文コンクールで

総務庁長官賞

九町小 三根生さん

総務庁長官賞を受賞されました。このコンクールは、平成三年七月から九月にかけて「わが家の交通安全」をテーマに全国の小中学生や母親、一般から募集。小中学生の応募総数、二万四千四百四十四点の中から、三根生敬子さんは小学校高学年の部で、ただ一人という最高の栄冠に輝きました。

三根生さんの作文は、運転免許を取ったばかりの父親が、安全に運転できるようにシートベルトや、車内でふざけないなど提案して、家族で真剣に話し合ったことや、どこの家でもみんなを気をつけ、交通ルールを守れば交通事故は必ずなくなるという呼びかけが書かれ、身近な問題だけでなく中広い視野で交通問題をと

口碑と立ちばなし ②

(川永田)

元岡荒一之碑

伊予市上吾川の伊予岡八幡神社に、日露戦争の絵馬が残っている。この絵馬は、明治三十九年、同市から出征した従軍兵士一三人が「征露凱施記念」として奉納したものだそうである。伊方町川永田の西ヶ崎には、日露戦争(明治三十七八年)に従軍した人の碑がある。この碑を地域の人は「兵隊さん」で親しんでいる。

故陸軍歩兵伍長

元岡 荒一之碑

君為人勇壯而至誠士也明治三十三年入營于第十一師團爾來全任務爲予備三十七年應召于充員入隊于歩兵第二十二連隊同年五月二十一日従軍於明治三十七八年之役登高浜港同年



九月進上等兵翌年一月任歩兵伍長自三十七年六月至越年一月此間參加於清國盛京省旅順要塞之攻撃実十有餘合果占領同所翌年二月戦於河城附近大有功同月攻略於板成略復爲敵所逆襲肉薄奮闘一挙退之同月末於五百字嶺西北方高地攻撃隊在於第一線中隊奮戦以領之三月始攻於同高地最高地点又得之自同月一日至同五於同最

高地守備中屢蒙敵大逆襲羅彈丸如霰損害過大頗極悲惨事愈急矣君思安危之機唯在此一舉耳則恭然而能指揮部下分隊一系不紊縱橫苦戰決死自當使敵辟易遂確實於高地之領有矣次際破於救兵台南方高地不干幸蒙敵丸而殲時明治三十八年三月六日也享年二十六歲依功賜功七級金鷄勳章是皆偶然年哉



- 3月の行事予定
3月3日 三世代交流(町公)
3月6日 青少年補導会連絡協議会(中公)
3月8日 向ふるさとまつり
3月上旬 自治公民館連絡協議会(中公) 社会教育委員会議(中公) 公民館運営審議会(中公)
3月中旬 体育指導委員協議会(中公) 文化財保護審議会(中公) ミセススクール(町公)

生涯学習であすを拓く ③
病気でなかつたら 健康といえるのですか
病気になる時ほど健康のありがたさが分る時はありません。
健康かという決してそうではありません。
健康とは身体が爽快なだけではなく、心もいつも前向き

保険で安心 明るくスポーツ
— 900万人の保険 —
スポーツ安全保険
平成4年度のスポーツ安全保険の受付が3月から始まります。この保険はスポーツ活動、文化活動、奉仕活動などの際の傷害事故や、第三者にあたえた損害を補償して、グループの人達が安心して活動できるようにする為につくられた、営利を目的としない互助共済の保険です。

俳句クラブ
北風を来て髪なほすバスの中
幼な子が破魔矢をかつき大威張り
老梅が無住の庭に威儀ただす
孫を待つ炬燵の上も片付けて
寒夕焼子等の去りたる遊園地
寒の星きらめき昇天の友想う
谷間にも山野にも消えた七草
湯豆腐の湯気立ちこみて眼鏡拭く
香る結び柳の僧の居間
野水仙むれ咲く石の温み得て
木戸えつ子
松田しづ子
篠川勝子
桜谷たまき
矢野さよ子
井上まさ子
奥田みよ子
門田千枝
明神義弘
梶谷芳久
三月のくらし
1日 全国火災予防運動
3日 ひなまつり
5日 啓蟄
7日 消防記念日
17日 彼岸入り
20日 春分の日
23日 彼岸明け
25日 電気記念日